

市小児科診療所等の運営に関する 基本協定調印式



子育ての未来のために

2月10日、庄原市小児科診療所等の運営に関する基本協定調印式が行われました。この基本協定により、小児科診療所と病児病後児保育施設整備が本格的に動き出しました。（関連記事8ページ）



いとう 伊藤めぐみさん(西城町)
西城町出身。プロダクトデザイナー兼カフェ mormor (モルモル) オーナー。関西の大学で空間デザインを、スウェーデンの大学院で木工デザインを学んだ。2012年に帰国し、西城町でカフェを開業。



伊藤さんがデザインしたコースターとスプーン



カフェではなじみのお客さんと談笑

しょうばら びと vol.20
庄原市内のかがやくひとを紹介し

ものづくり×カフェ

カフェを拠点に
中学卒業まで西城町で育った伊藤めぐみさん。美術やデザインに興味があり、関西の高校、大学に進みました。その後、スウェーデンの大学院に留学して木工デザインを学び、卒業後は1年間現地で活動し、28歳の時に帰国しました。

「デザイナーとして起業するため、自分のデザインしたものを発信する拠点となる店を持つことにしました。どんな店にしようかと考えたとき、西城町にはカフェが無いと思ったので、親戚の持つ空き家を再生してカフェを開業しました。」

「庄原は山や川が身近にあり、ものづくりをする人にとっては、材料がすぐそばにたくさんあるので良い環境なんです」と話す伊藤さん。創作活動に必要な木材は、山を所有している人からもらうことが多いそうです。取材中も、木材を提供したなじみのお客さんと、提供された杉の葉や樹皮で染められた布を囲んで、話に花が咲きました。自然豊かな庄原ならではの暮らしを実践し、二足のわらじを履く伊藤さん。「開業後はカフェに重きを置いていたので、今後はカフェとデザインの仕事のバランスを取っていこうと思います。国内外の見本市や展示会に出店し、デザイナーとしての活躍の場を増やしたい」と、伊藤さんはさらなる夢を語ります。

がんばれ！ スポーツ少年団
●西城 Jr (ジュニア) サッカークラブ

西城 Jr サッカークラブは、地域に支えられ、昨年度で創立 30 年を迎えることができました。サッカーを通じたさまざまな経験の中で、目標に向かって協力し、自ら考え、向上できるたくましい選手を目指しています。小学生の年代は、「ゴールデンエイジ」と呼ばれる、運動能力や感受性が大きく成長する時期です。そんな大切な年代にある子どもたちと、楽しく体を動かしながら、ボールテクニックや、ゲームの中での実践、状況判断の習得に、日々挑戦しています。小学1年生から6年生まで、メンバーを常時募集しています。まずは気軽に、西城球技場に遊びに来てください。



代表 延藤祐一
☎ 090-7133-4314
事務局 迫 慎一
☎ 090-4141-3004

まちづくりを進める市民活動登録団体をご紹介します！

NPO 森のバイオマス研究会
市は市内で活動している市民活動団体の登録制度をつくり広く公開しています。市民活動の充実、まちづくりの連携や協働を進めるため情報をお届けします。



活動 自然体験活動
内容 私たちは、森のバイオマスを利用した快適で環境にやさしい暮らしとその仕組みを企画・発信し、経済面・環境面で持続可能な循環型社会の実現を目指し活動をしています。子どもたちに自然体験をしてほしいとの思いから、備北公園管理センターと共催で「森の楽校」事業を実施し、里山林の整備や農業体験を通じて、木の遊具作りや薪ストーブでの料理などさまざまな自然体験活動を楽しんでいます。

3月の「森の楽校」を次のとおり開催しますので、ぜひご参加ください。
とき 3月18日(土) 10時～16時
ところ 国営備北丘陵公園南臨時駐車場入り口付近
内容 ツリーハウスの修理
参加費 1人500円・幼児300円(昼食付き)※公園の入園料は別途必要で、年間パスポートをお持ちの方は参加費の割引があります。
申し込み 備北公園管理センター ☎0824-72-7000

【NPO 森のバイオマス研究会】
所在地：庄原市川北町1251 番地
市民活動団体登録をしませんか？
市は随時、登録を希望する市民活動団体を募集しています。詳しくは、企画振興課自治振興係 (☎ 0824-73-1209) まで。

- 2 市民のページ
4 施政方針
8 こども未来広場整備構想
10 光エリア拡大中！
11 縁結び事業協力店のご紹介
12 子育て通信あそびっ子
13 消費生活Q&A
14 安心安全な毎日のために
14 廃校ノスタルジア in 庄原
15 母子保健だより
15 健康広場
16 市政トピックス
18 カメラレポート
24 お知らせ

なごみま☆ ショット

宮田 秀明くん (板橋町)
H28年5月27日生まれ
母より：笑顔のかわいい秀ちゃん！いっぱい遊んで、いっぱい食べて大きくな～れ♪

山本 乃維ちゃん (高町)
H27年4月24日生まれ
父母より：お兄ちゃんが大好きな乃維！元気で、素直に育ってね。

お子さんの写真を載せてみませんか？
3歳までのお子さんの写真を募集しています。写真(データも可)に、名前(ふりがな)・生年月日・性別・連絡先・子どもへのメッセージを添えて、行政管理課または支所広報担当まで申し込んでください。郵送、メール(koho@city.shobara.lg.jp)でも受け付けます。

平成29年度 施政方針

2月9日に開催された市議会本会議で、木山耕三市長が平成29年度の施政方針を述べました。その一部を抜粋して紹介します。
※全文は市ホームページに掲載しています。

1. はじめに

平成28年を振り返りますと、スポーツが生み出す感動と笑顔を市民の皆さんと一緒に分かち合い、まちの一体感とは、こうであると感じた、記憶に残る1年でした。

昨年8月のリオ・オリンピックで本市出身の金藤理絵選手が金メダルを獲得され、私はもちろん、大勢の市民の皆さんに夢と感動、そして誇りを与えていただきました。

10月には金藤選手の凱旋にあわせ、本市では7人目となります。市民栄誉賞を贈るとともに、祝賀パレードを開催し、約8千人の皆さんと一緒に、榮譽をたたえ、祝福と感謝の意を表すことができました。

また、「庄原市カーブ応援隊」を結成して12年、市民の皆さんがマツダスタジアムに駆けつけ、熱い声援を送り続け

た、広島東洋カープが25年ぶりに悲願のリーグ優勝を果たし、金藤選手同様にも、感動と元気をいただいたところでございます。

加えて、6年ぶりの開催となりました「大相撲庄原場所」では、大勢の皆さんが来場され、目の前で大相撲を見る貴重な機会に感謝の声をいただき、大盛況のうちに終了いたしました。関係者の皆さんに心よりお礼を申し上げます。

さて、平成25年4月に皆さんからのご支持・ご支援を頂戴し、合併後、2代目の庄原市長として市政のかじ取りを託され、はや4年の月日が流れようとしております。この間、多くの課題に直面しながらも、市政運営を推進できましたことは、市民の皆さんならびに議員各位のご理解とご支援のたまものであり、深く感謝申し上げます。

顧みますと、市民の皆さんとの対話に心掛け、要望やニーズの把握に努めながら、本市が抱えるさまざまな課題を

克服し、オール庄原による「夢の持てる活力ある庄原市」を築くため、「地域産業」「暮らしの安心」「にぎわいと活力」を柱とする「庄原いちばん」を掲げ、「やっぱり庄原がいちばんええよのお」と思える「まちづくり」に全力を注いでまいりました。

主な取り組みの成果といたしまして、比婆牛ブランドの復活、和牛TMRセンターの誘致、庄原産こだわり米のブランド力アップなど基幹産業の振興に加え、合併以降、懸案となっておりました「超高速情報通信網整備」につきましても、皆さんとの協議を重ね、最適な事業形

態を選択し、事業化に至ったところでございます。
また、第3子以降の保育料無料化や乳幼児等医療費助成の対象拡大など、安心して子どもを育てることへの経済的支援をはじめ、本市への移住定住を促進する総合的な施策を展開してまいりました。

本市の定住施策を利用した新規定住者の実績は、平成24年度の9世帯19人が、平成27年度で31世帯73人、平成28年度も30世帯70人が見込まれており徐々にではありますが、その成果が現れ始めたものと受け止めております。

さらに、広大な市域を有する本市の魅力と資源に光を集め、それぞれをつなぐことで、全域を輝かせるための「にぎわいづくり」と本市の一体感の醸成やプ



本解説社神野熊山比婆
「伊邪那美が眠る比婆の山」を
那美が眠る比婆の山」を
那美が眠る比婆の山」を
那美が眠る比婆の山」を



庄原市PRロゴマークキャラクター「ヒバゴン」

ロモーションを目的に、ヒバゴンとキョロやまくんを用いた、庄原いちばんロゴマークの作成なども進めてまいりました。
このほか、「比婆いざなみ街道物語」の一環で取り組みました、『日本誕生の女神伊邪那美（いざなみ）が眠る比婆の山』を発刊いたしましたところ、想定以上の好評を博し、伊邪那美神話の幅広いPRにつながり、大勢の観光客が訪れ、地域の皆さんから歓びの声をいただきなど、新たなにぎわい創出につながったところでございます。

これらの取り組みが実を結び、平成27年の本市への観光客数は287万5千人を超え、過去最高を記録いたしました。こうした4年間の取り組みにより、手応えを感じている一方で、引き続き克

2. 市政運営の基本方針

服すべき課題も山積いたしております。とりわけ、市内での産科医療再開につきましては、市長就任以来、極めて重要な課題と認識し、精力的に働きかけてまいりましたが、実現に至っておりません。

しかしながら、小児科医師の確保を含む診療所と病児病後児保育施設の整備に関しましては、先般、ご議決を賜りましたことから、産科医療再開の実現に向けた一歩を踏み出すことができました。

各施策を展開してまいります。
また、将来像の実現と目標人口達成には、市民の皆さん、議員の皆さん、本市出身者などの縁のある皆さんと意識・課題を共有した「まちづくり」が不可欠であることから、引き続き「オール庄原」体制を呼びかけ、総合的な取り組みを実行してまいります。

●「庄原いちばんづくり」を深化させる取り組み

市長就任以来「やっぱり庄原がいちばんええよのお」と思える「庄原いちばんづくり」の分野別政策・施策および事業を推進するため、最優先で取り組むべきものを取りまとめました「庄原いちばん基本計画」を策定し、事業推進に努めたことによりまして、多くの成果を紡ぎ出し、随所に手応えも感じているところでございます。

今後、本市の将来像を具現化し「ふるさと庄原」を未来へつなぐ「ため」には、「庄原いちばんづくり」をさらに深化させる必要があると考えております。

このような思いを胸に、「次代につながる庄原市」の実現を確かなものとするため、このたび新たな「庄原いちばんづくり」を策定いたしました。
なお、この分野別政策および施策に基づき、「選択と集中」の原則を踏まえ、地域の将来にインパクトを与える基幹施設整備事業のほか今後の市政における新機軸となる事業を「重点事業」に位置



国営備北丘陵公園

ト端末」を導入し、その活用について実証研究を行います。

●にぎわいと活力のいちばん

▼人口ビジョンに基づく将来人口維持と地域課題解決への挑戦

結婚を希望する皆さんを支援するため、自己啓発や出会いの場の提供に努め、カップル誕生から成婚へ、さらには定住への期待を込めました。「しよばら縁結び事業」の充実に努めます。さらに、転入者の住宅取得・改修にかかる一部助成の拡充・継続に加え、定住支援員を全地域に配置するほか、空き家バンク事業の充実など、平成28年12月に策定いたしました「庄原市定住支援アクションプラン」を着実に推進してまいります。



ドローン活用啓発セミナーを開催

付け、取り組みを強化・促進してまいります。

●財政健全化への取り組み

平成17年3月の新市誕生と時を同じくして、国の進めた構造改革および三位一体改革により、新市の財政運営は危機的状況に陥りました。

このため「行政経営改革大綱」を柱として「持続可能な財政運営プラン」や「公債費負担適正化計画」を策定し、歳入確保と歳出削減に努めた結果、財政指標はまだまだ厳しい数値ではございますが、本市の財政構造は着実に好転している状況にございます。

しかしながら、普通交付税は、特例措置が終了となる平成32年度に約19億円減少する見込みであり、加えて、普通交

付税の算定に用いる国勢調査人口の減少に伴う、さらなる縮減も予測されております。

こうした背景により、直面する厳しい財政状況を克服し、行政サービスの継続的な提供、第2期長期総合計画や庄原いちばんづくりの着実な推進を図るため、あらゆる視点での歳入確保と歳出削減を念頭に、新たな「持続可能な財政運営プラン」を策定し、中長期を見通した財政基盤の構築に取り組みまいります。

3. 庄原いちばんづくりに

●地域産業のいちばん

▼新たな可能性で切り開く持続的な地域産業の構築

先般、誘致が決定いたしました和牛TMRセンターの円滑な運営を行なうため、コントラクター組織の立ち上げを支援し、和牛農家の経営安定化や地域資源の有効活用につなげてまいります。

▼地域資源を活用した新たな「食の魅力」ブランドデザイン

比婆牛のブランド力をより一層高めるため、地域団体商標を生かした市場開拓のほか、生産基盤の強化に対する支援を継続してまいります。

また、マツタケ山の環境整備に対する奨励制度を新設し、山林整備と特用林産物の生産増進を図るほか、遊休農地を活用したワイン用ブドウの栽培を目指して、県立広島大学へ本市に適した品種選

定の研究をお願いすることとしております。

さらに、有害鳥獣対策で捕獲したイノシシなどの処理施設を整備し、捕獲促進に加え、ジビエやペットフードとしての有効活用も進めてまいります。

▼「技術革新による産業モデルの構築と雇用基盤の確立」

「地方創生加速化交付金」を活用し取り組みしております。ドローン活用推進事業を継続し、操縦講習会やシンポジウムなど、新たな視点による地域経済の活性化に努めてまいります。

●暮らしの安心のいちばん

▼安心を実感できる子育て環境の整備

本市の子育て世代に、大きな安心感をもたらす環境を構築する「こども未来広場」として、小児科診療所と病児病後児保育施設を早期に整備してまいります。

なお、放課後児童クラブとひだまり広場につきましては、今後、保護者や関係者の皆さんとの協議を重ね、最適な形態を総合的に判断してまいりたいと考えております。

▼高齢者の生活に対応するコンパクトな基盤の整備

比和地域に高齢者冬期安心住宅を整備するとともに、新たな整備地域につきましても調査・検討してまいります。

▼安心安全で快適な生活基盤の確保

超高速情報通信網整備事業の着実な推進により、平成30年度には市内全域で



庄原さとやまオープンガーデン

まオープンガーデン、豊富な山野草など、本市が誇る「花と緑」の観光資源を連携させ、周遊観光の促進や一体的なPR活動をを行うことで、「花と緑のまち・庄原」の認知度を高めるとともに、新たな「花街道」構想を描いてまいりたいと考えております。

4. おわりに

冒頭にも触れましたとおり、これまで4年間の「庄原いちばんづくり」の取り組みにより、徐々にではありますが、その成果が現れはじめております。こうした成果をより一層確実なものにするため、「新たな庄原いちばんづくり」のもとと



西城町に整備された高齢者冬期安心住宅

超高速インターネットと住民告知放送の利用が可能となる予定でございます。

また、新焼却処理施設整備事業につきましましては、候補地選定検討委員会より意見書が提出されたことを受けまして、現在、地元説明などの取り組みを行っておりますが、引き続き、市民・関係者の皆さんへの丁寧な説明に努め、ご理解をいただきながら事業を進めてまいります。

なお、ゴミの焼却時に発生する熱の有効活用についても検討してまいります。

▼次代を活躍・牽引できる人材の育成

外国語指導助手による指導体制を確立し、全ての小中学校で外国語教育を充実させるとともに、ICT活用教育モデル事業では、個々の生徒・児童に対応した「分かる授業」「魅力的な授業」の実現に向け、中学校のモデル校へ「タブレット

市の最重要課題と捉えた、「人口減少」の抑制に挑戦してまいります。

人口減少の抑制は、今日明日で解決できる簡単なことではありませんが、議員各位、市民の皆さんをはじめ、自治振興区、企業、各種団体や出身者の皆さんなど、「オール庄原」の力を結集し、未来を見据えた粘り強い取り組みが必要不可欠でございます。

この4年間、各地域での行事や市民活動などへ積極的に参加する中で、本市には、自治振興区をはじめ、それぞれの地域や団体などあらゆる分野で頑張る「一人」が大勢おられることを実感するとともに、「自分たちの地域を、さらには庄原市をより良くしていこう」という情熱や姿勢、地域力を肌で感じてまいりました。

こうした市民の皆さんの熱い思いを受け止め、「地域産業」「暮らしの安心」「にぎわいと活力」を柱とした施策を着実に積み重ねることで、必ずや人口減少の抑制につながるものと確信しております。

最後になりましたが、金藤選手が体現してくれました、決してあきらめることなく、努力を続けることの大切さや、地域を支える「一人」たちの活動を市政運営の糧として、「美しく輝く里山共生都市」の実現、さらには「やっぱり庄原がいちばんええよのお」と思えるまちづくりに、全身全霊を傾注し、市政を預かる者としての責務を果たしてまいります。

議員各位ならびに市民の皆さんのご理解とご協力を心よりお願い申し上げます。私の施政方針いたします。

子育ての未来を照らす

庄原市こども未来広場整備構想がまとまりました

保健医療課
医療予防係
☎0824-73-1155
児童福祉課
児童福祉係
☎0824-73-1192

この構想は、本市の小児医療および子育て支援施設の現状を踏まえ、さらなる「あんしん」が実感できる子育て環境を構築するための基本的な事項を整理したものです。

この構想に基づき、市は、小児科診療所と病児病後児保育施設を庄原市街地の中心部（庄原市こども未来広場）に整備します。

庄原市小児科診療所等の運営に関する基本協定調印式を行いました

市は2月10日、小児科医師である金丸博さんと、「こども未来広場」を整備するにあたり、小児科診療所と病児病後児保育施設の運営に関する基本協定を結びました。この調印式では、現在の金丸医師の勤務先である、三次市の市立三次中央病院の中西敏夫院長と、庄原赤十字病院の中島浩一郎院長の立ち会いの下、金丸医師と木山耕三市長が協定書に調印しました。この協定は、小児科診療所などの施設を整備してから20年間の施設運営を約束するもので、その後有効期間が満了する3カ月前までに申し出がない限り、1年ずつ更新していくこととなっています。

また、この日、庄原市の小児科診療を維持するための活動をしている、「庄原の小児医療を考えるひだまりの会」の

八谷りこさん、森岡早苗さんの両代表も会場に訪れ、調印の様子を見守りました。同会は、平成21年に会を立ち上げてから、小児科医師の負担を減らすために、病気に関する正しい知識を学び、上手な受診の仕方など小児医療についての勉強会などに取り組んできました。今回も、こども未来広場の計画をぜひ実現してほしいと、市内の子育て世代の思いを伝えるため、署名を集め市に提出しました。

木山耕三市長は、「この話をいただいたとき、本市の現状と課題、そして未来を考えるとき、必ず実現しなければならぬと、迷うことなく決断をした。この日を迎えるまでには、両院長からの力添えと、本市での開業の意志を最後まで貫いた金丸医師の熱意、さらには「庄原の小児医療を考

えるひだまりの会」の皆さんによる要望書の提出や短時間で署名活動は大変力強い後押しとなった。この事業は、地域の宝である子どもたち、またこれから生まれてくる子どもたちに安心な環境を提供し、

子どもたちを見守り・育む保護者の皆さんを支援するため、大変意義深いもので、産科医療の再開に向けた大きな前進であると実感している」と思いを述べました。



庄原の小児医療を考えるひだまりの会の八谷さん、森岡さんから金丸医師へ花束が贈呈された



かなまる・ひろし
金丸 博 医師
・広島大学医学部医学科卒業
・庄原赤十字病院小児科部長など歴任
・現三次中央病院小児科医長

顔が見える関係を築き 庄原に良い医療・子育て環境を

私は現在、市立三次中央病院小児科に勤務していますが、庄原赤十字病院に勤務していた4年半の間、地域医療に関わり、いつかこの地域に恩返しをしたいという気持ちで勤務をしていました。県北での開業を志し、その経過で、庄原赤十字病院の前院長の中西敏夫先生と現院長の中島浩一郎先生に声を掛けていただき、庄原での開業の志を持つようになりまし。そして、木山耕三市長から市としての地域医療、子育てに優しいまち、それらについての熱い思いを聞き、庄原市に開業することに決断しました。皆さんに協

力していただきながら、自分の責任ある行動で恩返しをしていきたいと思っています。

これから、医師、患者の立場だけではなく、それを取り巻く環境も含めて、その子に何があうのか、その保護者に何があうのか、医療・家族などいろいろな方面から患者に寄り添っていきける医療を目指したいと思っています。

顔の見える関係を築いていきます。そして皆さんと互いに協力して、良い医療・子育て環境を庄原につくり、一緒に子育てを楽しんでいきます。

庄原市の小児科診療を維持するために活動してきた人たちの声を聞きました



浅尾 綾さん

・ひだまり広場利用者(元育児サークル「バルーン」代表)

かかりつけの医師がいることは大変ありがたいことだと思っています。医師が交代されてもデータを見れば、その子の病歴などは分かるかもしれませんが、地域に定着した医師がいてくれたら、みんな心強いと思います。子どもによっては、ひどいアレルギーがあったりしますが、そういう子の保護者は、同じ医師に診ていただきたいという思いが強いと思います。

医師が本当に激務であることは感じています。いつ休まれているのだろうと思います。だから、ひだまりの会で小児医療の勉強をし、今ではこれぐらいなら様子を見ようという考え方もできるようになりました。

小児科医師不足と言われている中、私たちがもっと勉強しないといけないと思います。



森岡 早苗さん

・庄原の小児医療を考えるひだまりの会代表

私たちが「ひだまりの会」を立ち上げたきっかけは、「小児科医2人体制ができなくなるかもしれない」ということが懸念される中、当時の庄原赤十字病院小児科の医師と座談会をさせてもらったことです。会では、親の不安を軽くし、上手な受診ができるように子どもの病気について勉強してきました。今も変わらず2人体制を保ってもらっていますが、小児科の置かれる状況を伺ってからはざりざりの状態で働いておられるのだと感じています。また、他の市町に住む友人に「病児病後児保育がないのに、どうやって働いているの」と言われたこともあります。

医師を1人確保するということがとても大変なことだと思っています。そんな中、庄原市に小児科の医師が来てくださるのが本当にありがたいです。



八谷りこさん

・子育て推進委員
・庄原の小児医療を考えるひだまりの会代表

今回の署名活動をするなかで、子どもが病気の時、大変苦労している人がいることが分かりました。近くに小児科がない人は、具合が悪く大泣きする子をはるばる遠くの病院に連れていったり、病院に到着しても長時間待たなければならぬことがあったりと、大変な思いをされています。

話を聞いているいろいろな意見がありますが、中には子育てを終えた世代の人でも、「自分の娘が将来庄原に帰ってきて、出産できて、孫の面倒を自分が見ることができたらうれしい」と話をしてる人もいました。

庄原が少しでも子育てしやすいまちになればと思います。今回の小児科診療所や病児病後児保育施設整備は、その第一歩だと思っています。



縁結び協力店のご紹介

皆さんの縁結びを応援するサポーター

いちばんづくり課定住推進係 ☎0824-73-1257

しょうばら縁結びは、協力店を設け、会員の皆さんを応援しています。
 協力店は現在、市内に6店あり、しょうばら縁結び会員になると、協力店で特典を受けることができます。
 特典を受けるには会員証の提示が必要です。特典を受けられる条件は店舗によって異なります。
 予約時●/来店時○/精算時◎

問い合わせ 庄原市総合サービス株式会社 ☎0824-75-0600

おうちカフェ 〈ノラの家〉 比和町比和 612-2 ☎0824-85-2128

特典: ケーキセット100円引き/条件◎
 お庭で、カフェでゆったりしてください。
 営業: 土・日曜日のみ、13時~17時
 定休日: 1、2、7、8、11、12月はお休みです。
 ご来店の際にはご連絡ください。




HOME SPRING ホーム スプリング 西本町三丁目 9-1 ☎0824-72-0337

特典: お会計合計金額から50円引き/条件◎
 毎月替わる手づくりケーキが人気です! おひとりでも気軽にお入りください。
 営業: 10時~18時
 定休日: 日曜日




イザナミ茶屋 西城町熊野 524-2 ☎0824-82-3502

特典: 食後のコーヒーサービス/条件○
 神話の里、イザナミノミコトが祀られている熊野神社。老杉の不思議なパワーで2人にもきっと元気がもらえるでしょう。神社の麓でお待ちしています。
 営業: 4月19日から開店
 10時~15時
 定休日: 月・火曜日
 ・11月30日~
 4月下旬冬季休業




香面堂 こうめんどう 西本町三丁目 10-8 ☎0824-72-1592

特典: お買い上げ金額から10%OFF/条件◎
 手作り雑貨を集めている小さなお店です。消しゴムはんこなど、工作教室も行っています。友達とでもおひとりでも、お気軽にどうぞ。
 営業: 11時~18時
 定休日: 月・火曜日、第2・4日曜日



qua felice hair&make クア フェリチェ 川手町 75-11 ☎0824-72-5632

特典: 新規来店で20%オフ、2回目以降10%オフ/条件●○○
 お客様の個性を最大限に生かしトータルビューティーで皆様に輝いていただきます。アイラッシュなどのメニューもあります。メンズ、レディースどちらも大歓迎です。
 営業: 平日9時~19時、日・祝日9時~18時
 定休日: 月曜日、第1・3日曜日



Spa salon RCO スパ サロン ルコ 川手町 212-1 ☎0824-72-6765

特典: 新規来店で20%オフ、2回目以降10%オフ/条件●○○
 お客様一人一人に合わせたオーダーメイドコースを見つけ皆様を美と健康へと導きます。フェイシャルケア、ボディケアどちらもできますので、お悩みなんでもご相談ください。
 営業: 9時~19時
 定休日: 月曜日、第1・3日曜日



※詳細はしょうばら縁結びのホームページをご覧ください。(https://shobara-enmusubi.jp)

光エリア拡大中!

管財課情報政策係 ☎0824731113
 行政管理課広報統計係 ☎0824731159

住民告知端末を 設置しましょう!

市は、平成26年度から30年度にかけて、市内全域に光ファイバーケーブルを整備しています。この光ファイバーの回線を活用して平成27年10月から「緊急情報」や「行政情報」を音声でお知らせする「住民告知放送」を開始し、順次エリアを拡大しています。
 平成29年度は、新たに西城町全域と庄原地域全域での利用が可能となるため、対象となる世帯に告知端末使用申請書や関係資料を送付しています。申請を受け付けていますので、お早めに申請してください。

住民告知端末を設置することができること

- 1 朝・夜の定時放送で市からの行政情報を聞くことができます。
- 2 災害時などの緊急情報をいち早く聞くことができます。
- 3 住民告知端末が接続された電話同士では、特番をつけてかけると無料で通話ができます。
- 4 自治振興区や自治会から、地域に放送することができます。
- 5 ラジオ放送(NHK第一、中国放送)を雑音なく聞くことができます。

光インターネットサービスが利用可能

スマートフォンやパソコンでインターネットをする方は、NTT西日本が提供する光インターネットサービスを利用すれば、高速で大容量の情報を送受信できます。

使用申請の流れ

- 1 対象世帯に使用申請書や関係資料が届きます(各戸配付)
- 2 住民説明会の実施
- 3 使用申請書を市に提出
- 4 NTTから調整連絡
 申請後、NTT西日本中国コンサルティングセンター(☎0800-200-3499)から、サービス内容の確認や工事日・工事内容の決定のため、2回電話がかかってきます。
- 5 NTTによる工事(サービス開始)

平成29年度整備エリアとサービス開始予定時期

平成29年度整備エリア	サービス開始予定時期
【西城電話交換所管内】 西城地域全域	4月
【八針電話交換所管内】 八針地域全域	5月
【庄原電話交換所管内(都市計画区域外)】(平成27・28年度整備地域を除く) 宮内町、永末町、大久保町、高町、川西町、小用町、実留町、新庄町、是松町、高門町、川北町、濁川町、門田町	8月
【庄原赤川電話交換所管内】 本村町、上谷町、峰田町、春田町	9月

※上記以外に平成30年度整備エリアにおいて、設計のため調査に入る場合があります。
 ※一部地域でサービス開始時期が異なる場合があります。

事業所を対象に 相談会を開催します!

平成29年度までに利用が可能となる地域について、次のとおり相談会を開催します。会場ではNTT西日本が事業者向けに個別相談に応じます。複数回線の申請など、お気軽にご相談ください。

3月16日(木)~17日(金)
 10時~16時
 ところ
 庄原市役所本庁舎1階市民ホール



住民告知端末および光電話や光インターネット設置の初期費用(2万2800円)の市の負担期限は、住民告知放送のサービスが市内全域で開始した日から1年を経過する日(平成31年10月上旬の予定)までです。設置を希望する方はお早めに申請を!

子育て支援センターを ご利用ください

子育て支援センターは、子育て家庭や地域の皆さんが気軽に集い、交流できる場です。
子育てに関する相談、情報の提供、友だちづくり・交流の場の提供、サークルの活動支援などを行い、あなたの子育てを応援しています。詳しくは、各支援センターへお問い合わせください。

支援センター名	所在地	電話番号
庄原子育て支援センター (庄原ひだまり広場)	中本町二丁目13-1 (JR備後庄原駅舎内)	0824-75-0222 (FAX 兼)
板橋子育て支援センター (板橋ひだまり広場)	板橋町181-3	0824-72-6720 (FAX 兼)
ジョイフル子育て支援センター (あいあいキッズ)	西本町二丁目19-1 (ショッピングセンタージョイフル2F)	0824-72-8983
西城子育て支援センター (西城子育て支援施設内キッズルームひよこ)	西城町中野192	090-8067-1943
東城子育て支援センター (こどもの館内)	東城町川東1371-1	08477-2-0160
小奴可子育て支援センター (小奴可こども園内)	東城町小奴可2530-1	08477-5-0031
口和子育て支援センター (口和保健福祉センター内)	口和町永田415-4	0824-89-7070
高野子育て支援センター (高野保健福祉センター内)	高野町新市1150-1	0824-86-3044
比和子育て支援センター (比和保育所内)	比和町比和535-1	0824-85-2608
総領子育て支援センター (総領保育所内)	総領町下領家71	090-3634-0353

●子どもの発達や成長についての相談をお受けしています

次の子育て支援センターで、子どもの発育やしつけについて不安を持つ方を対象としたアドバイスを行っています。
※事業実施中は留守番電話での対応となります。折り返し連絡しますので、連絡先を伝言してください。

支援センター名	所在地	電話番号
田川子育て支援センター (すてっぶ)	濁川町43-9	0824-72-3303
帝釈子育て支援センター (じゃんぶ)	東城町帝釈未渡2021 (旧帝釈保育所)	08477-6-0505

消費生活Q&A

～おしえて消費生活相談員～
vol.3
市民生活課市民生活係
☎ 0824・73・1154

問題の前に：インターネットを利用するには2種類の契約が必要ですよ

契約の種類	契約内容	契約相手
インターネット回線契約	通信回線を使用するための契約	庄原市の事業(※)ではNTT光回線
プロバイダ契約	インターネットにつなげるための契約	プロバイダ事業者(利用者が任意に選択)

※庄原市超高速情報通信網整備事業

Q 「インターネット料金が安くなる」と電話で勧誘された時、誤った対応はどれ？

- ① 何の契約を勧誘しているかを聞き、事業者名・担当者名・連絡先を確認する。
- ② 今契約しているプロバイダとどう違うのか、サービス内容と料金を確認する。
- ③ 今契約しているプロバイダについて、解約すると違約金がかかるか確認する。
- ④ よく分からないが、安くなれば良いので、相手が言うとおりの手続きを進める。

解説

インターネット回線契約とプロバイダ契約は全く別のものであり、どの事業者が何を勧誘し、結果どうなるのかを確認することは大切です。(①ー正しい)

料金が安くなるかならないかは、今のサービス内容や料金と比べてみる必要があります。オプシオン契約なども含めて確認してみましょう。(②ー正しい)

プロバイダ契約では、解約すると違約金がかかる期間があることがほとんどです。また、プロバイダを変更した場合、元の契約と二重契約になっていないか注意しましょう。(③ー正しい)

契約期間、料金設定、解約条件などを確認することは重要です。特に遠隔操作により相手が手続きを進める場合、内容確認が難しくなるので注意が必要です。(④ー誤り)

誤った対応は④です！

買い物や契約、クーリング・オフに関する相談は庄原市消費生活センターへ！
☎ 0824・73・1228

平日9時～16時(12時～13時は除く)受付

安心・安全な毎日のために

庄原警察署 ☎ 0824・72・0110

道路横断中の事故に注意しましょう

昨年、市内では道路横断中の交通事故が2件発生しました。2件とも夜間に発生し、高齢者が亡くなっています。

県内では、86件の交通事故が発生しましたが、道路横断中の事故が19件を占めています。このうち17件が夜間に発生し、しかも15件の被害者が高齢者となっています。

道路を横断するときには

- ▼横断歩道を渡りましょう！
- ▼左右の安全確認をしっかりと横断を始めましょう！
- ▼青信号でも車が「付近にいないこと」または「しっかり止まってくれたこと」を確認して横断しましょう！
- ▼夕暮れや夜間は明るい服装に反射材やLEDライトを利用しましょう！

車・バイクを運転するときには

- ▼安全速度を厳守しましょう！
- ▼横断歩道付近は歩行者がいるものと思い、よく確認しましょう！
- ▼ライトは早め(日没の1時間前が目安です)に点灯しましょう！
- ▼上向きライトを活用しましょう！
- ▼特に高齢者や子どもには思いやりを持った運転を心掛けましょう！



広島県警察反射材活用促進キャラクター「キラリ☆マン」

第3回 廃校ノスタルジア in 庄原

3月19日開催！



① 学校の器類、食器、調理器具など
② 旧帝積小の図書室
③ 旧帝積小の理科室
④ 旧帝積小の音楽室
⑤ 旧帝積小の体育館
⑥ 旧帝積小の校舎

庄原市内の廃校施設で長年使われていなかった学校備品を販売します。売り上げは全て、庄原市の将来を担う子どもたちの教育費として使います。忘れられ捨てられるのではなく、新たに脚光を浴びることが出来る場所に送り届けたい。そんな想いから「廃校ノスタルジアin庄原」は動きだしました。

今回は前回に引き続き旧帝積小学校を会場とし、地元の方、市民団体、学生、行政が力を合わせて実施します。旧戸宇小学校・旧久代小学校などから、子どもたちの机・椅子、跳び箱、楽器や理科の実験道具など多数出品するほか、地元特産品などおいしいものの販売もあります。

学校備品の新たな門出となる日、一日だけの開校日です。この機会に学校を懐かしみ楽しんでください。多くの方々のご来場をお待ちしています。

とき 3月19日(日) 10時～15時
ところ 旧帝積小学校
問い合わせ
教育総務課学校管理係
☎0824・73・1186

健康広場

ストレスと睡眠



保健医療課健康推進係 主任

繁藤千由香

質の良い睡眠で健康づくり

職場や家庭での人間関係や経済的な問題、または介護の悩みなど、人はいろいろなストレスを抱えています。適度なストレスは、やる気や集中力を高めたり、免疫力を向上させたりするなどの利点がありますが、ストレスを抱えた状態が続くと、心や体が疲労し、さまざまな悪影響をもたらします。

そこで、大切なのが「睡眠」です。「睡眠」には、心身の疲労を回復させる働きがあります。睡眠時間の不足や睡眠の質の悪化は、生活習慣病のリスクにつながるともいわれています。また、不眠がうつ病のような心の病につながることもや、睡眠不足や睡眠障害による日中の眠気が事故につながることも明らかになっています。

自らの睡眠を見直し、質の良い睡眠をとることで、体と心の健康づくりを目指しましょう。



寝る前には心身のリラックスを！
胃腸が動いていると眠れないので、夕食は寝る3～4時間前までにとりましょう。
また、寝る前のカフェイン（コーヒー、紅茶、緑茶など）も、覚醒作用により眠気が覚めたり、利尿作用による夜間のトイレで目が覚めたりするなどの原因にもなります。



これらのことをしても、寝つけない、熟睡感がない、十分に眠っても眠気が強いことが続くなど、日中の活動に影響があるという方は、早めに身近な専門家に相談しましょう。

健康づくりのための睡眠
しっかり朝食、適度な運動、眠りと目覚めのメリハリを！
朝食は体と心の目覚めに重要です。朝、起きたら太陽の光を浴びて、適度に体を動かして、体のリズムを整えましょう。
睡眠時間にはこだわり過ぎなくても大丈夫！
必要な睡眠時間は人それぞれです。で、日中の眠気で困らなければ大丈夫です。

「寝だめ」ではなく30分以内の昼寝を！
睡眠不足を補うために、休みの日に朝遅い時間まで寝る方も多いですが、それでは夜眠れなくなり、朝の目覚めの悪さにつながることがあるため、お勧めできません。寝だめではなく、午後の早い時間に30分以内の短い昼寝をすることが眠気による作業能率の改善に効果的です。
【参考】厚生労働省「健康づくりのための睡眠指針2014」

母子保健 だより

乳幼児健診を受けましょう



乳幼児健診は、子どもの身長、体重などを測定し、前回からの成長を確認したり、成長曲線と照らし合わせて、成長度合いを見ます。また、精神発達の確認、病気の早期発見のほか、子育てをするうえで困りごとや不安など、育児に関するさまざまな相談に応じています。

市が実施している乳幼児健診には乳児健診、1歳6カ月健診、2歳児健診、3歳児健診があります。これらは、子どもの発達段階で特に確認が必要な時期となる年齢を設定しており、保育所で実施される内科健診とは目的が異なります。また、小児科医師、歯科医師、歯科衛生士、栄養士、助産師、保健師など多職種が関わって実施しています。

何か心配なことがある場合は一緒に考え、必要があれば各相談の場を紹介しています。発達に応じて必要な関わりを持つことは、子どもが成長していくうえで大きな財産になります。

健診は無料で受けられます。子どもの成長の節目としてこの健診を受けていただき、日頃気になることや心配なことなど、気軽ににご相談ください。

平成29年度の乳幼児健診の日程は

庄原市 乳幼児健診

で検索してください

保健医療課健康推進係
☎0824・73・1255

生涯学習課 スキーを楽しみながら技術向上 庄原市レベルアップスポーツ教室



楽しく真剣に指導を受ける

1月29日、ひろしま県民の森スキー場でスキーの技術向上と楽しさを知ることを目指すレベルアップスポーツ教室スキー教室を開催しました。小学1年生から大人まで74人が参加し、それぞれのレベルに合ったクラス（初心者・初級・中級・上級・競技）に分かれ、全日本スキー連盟公認指導者から、スキーの基本・競技技術などを学びました。参加者は、自分の目指す技術習得に向けて真剣に取り組みながら、スキーを楽しんでいました。

途中雨模様となりましたが、参加者や講師はお互いに交流を深め、笑顔があふれる教室となりました。

生涯学習課 庄原っ子の活躍を祈念 全国大会等出場者を激励



選手に花束が贈られた

スポーツ部門で、全国大会へ出場する選手に対し、健闘を祈り激励しました。牧原明人教育長があいさつを行い、出場者に祝金と花束が贈られました。出場者は次のとおりです。

- 天根 千晴（高野中3年）
第54回全国中学校スキー大会
とき 2月2日(木)～5日(日)
ところ 山形県上山市
- 種目 ジャイアントスラローム、スラローム
- 須安菜々香（高野中2年）
第54回全国中学校スキー大会
とき 2月2日(木)～5日(日)

商工観光課 観光で稼ぐノウハウを学ぶ 庄原市観光地域づくり講座



参加者は体験型観光について学んだ

型観光へニーズが変化している現状を紹介し、地産地消に徹底的にこだわり、体験プログラムと宿泊、食事、土産、交通を組み合わせた地域連携型の総合旅行商品の作り方などを分かりやすく説明しました。参加者は「観光で地域を活性化させるイメージがわき、元気がでた」などと笑顔で話していました。

市と観光協会は、観光客数や観光消費額の向上を図るため、庄原らしい観光振興のノウハウを学ぶ「庄原市観光地域づくり講座」を開催しています。本年度は、外国人観光客の誘致、観光情報の発信方法などをテーマに5回開催する予定です。3回目となる2月13日には市内のホテルで、体験型教育旅行の第一人者である藤澤安良さんが「体験型観光は地方創生の切り札、宿泊飲食業への期待と誘客ノウハウ」と題して講演し、宿泊や観光関係者など約30人が参加しました。藤澤さんは講演で、見る観光から体験型観光へニーズが変化している現状を紹介し、地産地消に徹底的にこだわり、体験プログラムと宿泊、食事、土産、交通を組み合わせた地域連携型の総合旅行商品の作り方などを分かりやすく説明しました。参加者は「観光で地域を活性化させるイメージがわき、元気がでた」などと笑顔で話していました。

商工観光課 仕事と生活の調和を考える ワーク・ライフ・バランスセミナー



参加者は仕事と生活の調和について学んだ

1月27日、庄原市民会館で「ワーク・ライフ・バランスセミナー」を開催しました。ワーク・ライフ・バランスとは「仕事と生活の調和」という意味で、この考え方を実践することで、より働きやすい職場環境へとつながります。今回は、ワーク・ライフ・バランスやハラスメント防止に関する、数多くの講演会で講師を務めた三木啓子さんを招き、「メンタルヘルス問題の現状と課題」をテーマに開催し、市内の企業や団体から22人が参加しました。参加者からは、「具体的な内容で参考になった」「職場内で協議し、対応できることを考えていきたい」といった声が聞かれました。

行政管理課 誰にも分かりやすい情報発信を目指して 庄原市ホームページをリニューアル

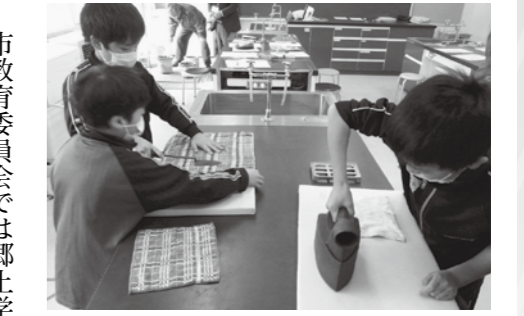


リニューアルしたトップ画面

2月28日、市は庄原市ホームページをリニューアルしました。新しいホームページは、高齢者や障害者を含むより多くの方が利用しやすいように改善しています。必要とする情報にトップページからたどり着きやすくするため、各ページをカテゴリに分けて整理しました。また、リニューアルに伴って職員の研修会を開催し、ウェブアクセシビリティ（ウェブコンテンツへのアクセスのしやすさ）に配慮したページを作成しています。今後も皆さんに、庄原市についてより理解していただけるような情報発信に努めていきます。※トップページのアドレスに変更はありません。
<http://www.city.shobara.hiroshima.jp/>

- 山形県上山市
種目 スラローム
- 熊本 心優（広島新庄中1年・比和町）
第54回全国中学校スキー大会
とき 2月2日(木)～5日(日)
ところ 山形県上山市
- 種目 ジャイアントスラローム、スラローム
- JOCジュニアオリンピックカップアルペン競技
とき 3月24日(金)～27日(月)
ところ 岩手県雫石町
- 種目 K2ジャイアントスラローム、スラローム
- 山形県上山市
種目 ジャイアントスラローム、スラローム
- 第72回国民体育大会冬季大会スキー競技会
とき 2月14日(火)～17日(金)
- 長野県白馬村
種目 少年男子ジャイアントスラローム
- JOCジュニアオリンピックカップアルペン競技
とき 3月24日(金)～27日(月)
- 岩手県雫石町
種目 K2ジャイアントスラローム、スラローム

生涯学習課 「古い道具とむかしの暮らし」を学んだよ 郷土学習支援事業



炭火アイロンやコテでハンカチのしわを伸ばす

市教育委員会では郷土学習支援事業として、出前講座や体験学習、資料の貸し出しなどを行っています。市内小学3年生の児童たちが社会科でこの事業を活用し、古い道具の学習を通して、変わってきた人々の暮らしについて学びました。庄原小学校の児童は1月25日に歴史民俗資料館で庄原市文化財ガイドの方から展示資料の解説を受けました。高小学校の児童は1月27日に、永末小学校の児童は2月3日に炭火アイロンでのアイロン掛け体験などを行いました。八幡小学校の児童は2月7日に「すくもくど（かまど）」を利用した炊飯体験を行いました。参加した児童からは「昔の人の暮らしの工夫がすごいと思った」という声が聞かれました。

- 小田 愛斗（広島商船高専2年・比和町）
第66回全国高等学校スキー大会
とき 2月2日(木)～6日(月)
ところ 群馬県片品村
- 種目 スラローム
- 堀井 亮佑（加計高芸北分校1年・西城町）
第72回国民体育大会冬季大会スキー競技会
とき 2月14日(火)～17日(金)
- 主田 周平（西城小6年）
JOCジュニアオリンピックカップアルペン競技
とき 3月24日(金)～27日(月)
- 種目 少年男子ジャイアントスラローム、スラローム
- 小田 采奈（三次高1年・比和町）
第72回国民体育大会冬季大会スキー競技会
とき 2月14日(火)～17日(金)
- 種目 少年女子ジャイアントスラローム



白銀の世界で頂上かけ熱戦

No.1

雪合戦ひろしま 2017in 高野・2/4・5・11



7



2



1

「第20回広島県雪合戦大会」が高野スポーツ広場で開催され、県内外から105チーム、選手・観客合わせて約4000人が来場しました。

20回大会を記念し、特別リーグとして全国からの招待を含む強豪チームによる「オールスターリーグ」と往年の名選手も出場する「レジェンドリーグ」が新設され、3日間にわたる熱戦が繰り広げられました。大会2日目には雨、翌週の3日目には大雪となりコートコンディションが悪い中、選手たちは雪球を投げ、かわし、相手チームのフラッグを奪い合いました。

また、大会2日目の2月5日には同会場内で「第7回鍋＆漬物グランプリ」が開催され、雪合戦大会に負けない盛り上がりを見せました。鍋グランプリには市内外から8団体が出店。スペインのバル料理「カルカムサ」をアレンジした特色のある鍋などが並び、それぞれ自慢の味を競いました。審査の結果キジ肉を野菜や蕎麦と一緒に煮込んだ「きじ鍋」を出品した初出場の「松尾きじ園（北広島町）」がグランプリを獲得。

漬物グランプリには、名人による自慢の漬物22品が出品されたうち、昨年に続き垣内純子さん（高野町）の「大根のんにく醤油漬」が頂点に輝きました。



3



10



8



4



9



6



5

1. 特色ある鍋が振る舞われた鍋グランプリ／2. 趣向を凝らした22品が出品された漬物グランプリ／3. 試合開始の合図を待つ／4. シェルター越しに攻め合う／5. 白熱の雪上綱引き／6. ステージを盛り上げたアラフォー女子ユニット「悪女時代」／7. ジャンプしてよけるも足にヒット／8. フラッグ奪取!?の瞬間／9. 意を決してシェルターを攻める／10. ジュニアの部決勝戦の選手紹介では選手が観客とハイタッチをしながら登場した



地元で貢献できる人に

職業人インタビュー・1/24

No.4

東城高校2年生の生徒が、東城町内で仕事をしている人を学校に招き、職業人インタビューを行いました。このインタビューは、進路決定を控えた2年生が、地域のいろいろな人の話を聞くことで、進路について深く考えるだけでなく、コミュニケーション能力を身につけるために、昨年度から行われています。

インタビュー中、生徒の皆さんは、逆に質問されることもあり、戸惑いながらも一生懸命考え、いろいろな刺激を受けていました。

生徒は「話を聞いて皆さんの地元への愛を強く感じた。自分も地元で貢献したいと感じ、できることは何かを考えるいい機会になった」と話していました。



▲グループごとに入れ替わりながらインタビュー

「どぶろく」で地域の活性化

酒類製造免許付与・2/1

No.3

庄原税務署で、市内で初となる「しょうばら どぶろく特区」を活用した酒類製造免許（酒造免許）が、高野町の種丸英清さん（農業・飲食店経営）に付与されました。種丸さんは、平成27年に広島市内で酒造研修を受け、以降、経営する飲食店の敷地内で酒造場の整備を進めてきました。今後はどぶろくを製造し、経営する飲食店で提供や販売が行われます。

「しょうばら どぶろく特区」は、国から構造改革特別区域法に定める酒税法の特例措置を受けたもので、特例措置により酒造免許を申請するためには、特区の区域内で農家民宿や農家レストラン、飲食店などを営業する農業者であることなどの要件があります。



▲免許状を手渡された種丸さん

雪山で自然を満喫

第17回猫山雪まつり・2/4

No.5

スノーリゾート猫山で、第17回猫山雪まつりが開催されました。雪像コンテストや雪球を投げてパネルに当てるストラックアウトゲーム、雪上バギー乗車体験、滑る速さを競うスピードガンコンテスト、餅つきなどたくさんの催しが行われたほか、庄原焼きや豚汁なども出店されました。

人気を博したのがストラックアウトゲーム。雪球を当てたパネルの数によっていろいろな景品が用意され、多くの子どもたちが挑戦していました。またこの日は、ナイター営業時や、全身コスプレの人にはリフト券が割引され、多くのスキーマーやスノーボーダーが訪れ、雪山を楽しんでいました。



▲パネルを狙って雪球を投げるストラックアウトゲーム



▲快晴のゲレンデでの催しに多くの人が参加した

歌って踊って地域活性化

ヒバゴン音頭 2017・1/27

No.2

「ヒバゴン音頭」がNHK 広島テレビ番組「勝手にブランド発見伝」でリニューアルされました。

「ヒバゴン音頭」は、まちの活気を取り戻そうと、森永まゆみさん（本村町）が作詞し、田辺のぼるさん（峰田町）が作曲して、平成23年6月に完成させた音頭です。今回この原曲が、番組の企画で「ヒバゴン音頭2017」として、より多くの世代に親しまれるダンスミュージックにアレンジされました。

市内の子どもから大人まで、多くの市民の皆さんが踊りの練習や1月27日の生放送に参加しました。

今後、この音頭が、庄原市の地域活性化につながることを期待されます。（関連記事 30 ページ）

今回作られた「ヒバゴン音頭2017」のミュージックビデオは、NHK 広島「勝手にブランド発見伝」の番組ホームページから見ることができます。
<http://www.nhk.or.jp/hiroshima/kbh/>



▲1月12日の練習には市内の幅広い年代の団体が参加



▲ヒバゴンは振付師のFISHBOYさん(中央)と1月13日に帝釈峡で撮影



▲庄原市役所での生放送リハーサルの様子



▲練習後の集合写真



元スキー場で雪遊びを楽しむ

スノーフェスタ in 口和・1/29

No.10

今回で12回目となる「スノーフェスタ in 口和」が、金尾原元スキー場で開催され、市内外から約100人が参加しました。

宮内自治会を中心に、口和町観光交流協会などが企画し、かまくら作りや雪中宝探しなどが行われました。恒例のそりすべりジャンプ大会では、子どもたちが上手にそりを操作し、みごとなジャンプを決めていました。昼食には、うどんやおでんなどが、おやつにぜんざいが振る舞われ、参加者は冷えた体を温めていました。

宮野克己実行委員長は「毎年、雪の量が心配だが、市外からの参加者も多く、今後も続けていきたい」と話していました。



▲そりを巧みに操り大ジャンプを決める

環境保全の第一歩

「森の教室」を3保育所で開催・1/17・18

No.9

「みどりの募金」事業などを実施している、国土緑化推進機構が主催する「森の教室」のイベントが、市内の東城保育所・峰田保育所・七塚保育所で行われ、近辺の8つの保育所の園児が参加しました。

子どもたちは、森のお姉さん、マスコットキャラクターの「どんぐりくん」や「エコロン」と森の動物の鳴き声クイズやダンスを楽しみながら、森の大切さを学びました。

参加者は、「どんぐりくん」らの登場に大興奮の様子で、最後は全員でどんぐり時きを体験し、「森の教室」出演者と、どんぐりの苗を大切に育てていくことを約束しました。



▲森の動物の鳴き声クイズに挑戦する園児（七塚保育所）

みんなの財産を守り伝えるために

文化財防火デー（1月26日）に伴う防災訓練・1/22～26

No.11



▲大雪の中でのバケツリレー（口和町・多加意加美神社）

「第63回文化財防火デー」に伴って、市内各地で火災想定訓練が実施されました。「文化財防火デー」は、昭和24年に国宝「法隆寺金堂」の壁画が焼けて壊れたことを機に定められ、この日を中心に全国的に文化財防火運動が展開されています。

今回は、本村町の「蘇羅比古神社」、西城町の「蓮照寺」、口和町の「多加意加美神社」で実施され、地域住民によるバケツリレーや地元消防団との連携による消火活動などが行われました。また、備北地区消防組合と災害時における協定を締結している、庄原地区生コンクリート協同組合も参加し、ミキサー車による消火用水の供給訓練も実施されました。



▲建物に向かって放水（西城町・蓮照寺周辺）



▲ミキサー車による簡易水槽への補給（本村町・蘇羅比古神社周辺）

市民の思いを届け激励

庄原市カーブ応援隊が日南キャンプを訪問・2/5

No.6

庄原市カーブ応援隊の一行12人が、広島東洋カーブのキャンプ地である宮崎県日南市の天福球場を訪問しました。

カーブ応援隊を代表して庄原市観光協会の土井幹雄会長が「庄原市の特産品を食べて、今年も感動を！そして今年こそ日本一を！」とカーブ応援隊の熱い思いを緒方孝市監督に伝え、庄原米や比婆牛などの特産品を贈呈しました。

25年ぶりにセ・リーグ優勝し、広島だけでなく全国へ感動を与えた昨シーズンから、日本一への期待がますます高まるカーブ。ぜひ皆さんもカーブ応援隊に参加し、一緒に熱く声援を届けましょう。



▲カーブ優勝日南パレード



▲緒方監督へ比婆牛贈呈



▲日南市 天福球場の外壁



▲日南市を訪問した庄原市カーブ応援隊メンバー

世代間交流を通じて食の伝承

第2回伝統食講座・2/13

No.8

総領自治振興区主催の「第2回伝統食講座」が総領自治振興センターで開催され、地域の高齢者10人と総領放課後子供教室の児童11人が参加しました。この講座は、食生活が多様化する中で、郷土料理や伝統食などの食文化を大切に、次世代に伝えることを目的に開催されています。

今回は、正月の祝い納めの日「二十日正月」に食べられていた、麦飯にとろろ汁を掛けて食べる「麦飯」と大根・ニンジンなどの野菜を煮物にした「いとこ煮」を作りました。

参加者は、「二十日正月」のいわれなどについても学び、和やかな雰囲気の中で料理を楽しんでいました。



▲共同作業でとろろ芋をすりおろす

感謝を込めておもてなし

比和小学校 ありがとう会・2/8

No.7

比和小学校の児童が、一年間お世話になった地域の方々を学校に招待し、「ありがとう会」を開催しました。

校庭樹木の剪定や課外授業、比和っ子田（田んぼ）での田植え・稲刈りの際の指導など、児童たちが学校生活を送る中でお世話になった多くの方へ、手書きの礼状を渡し、菓子と抹茶を振る舞いました。

いつもあたたかく見守ってくれている地域の方々に、「ありがとう」の気持ちを形にして伝えることのできるこの会。児童たちにとって、これからも続けていきたい大切な行事の一つとなっているようでした。



▲児童を代表して5・6年生から菓子と抹茶が振る舞われた

悩みごと、心配ごと、
お困りごとなど、
お気軽にご相談を

あなたの相談をお受けします

各種相談	とき	ところ	備考	問い合わせ
定期巡回 児童相談	庄原 4月20日(木)10時~16時	庄原市ふれあいセンター ※変更することがあります。詳しくはお問い合わせください。	広島県北部こども家庭センターによる相談。1週間前までに予約。	児童福祉課あんしん支援係 ☎0824-73-0051
	東城 4月13日(木)10時~16時	東城支所		東城支所保健福祉係 ☎08477-2-5131
人権相談	庄原 3月21日(火)、4月4日(火)・18日(火) 13時30分~16時30分	庄原市ふれあいセンター	人権擁護委員	三次人権擁護委員協議会 ☎0824-62-2572
	高野 4月11日(火)13時~15時	高野支所		
	比和 4月20日(木)13時30分~15時30分	比和自治振興センター		
	総領 4月12日(水)9時~11時	総領保健福祉センター		
行政相談	庄原 4月20日(木)13時~15時30分	庄原市ふれあいセンター	行政相談委員 ※東城地域の開催予定は、東城支所市民生活係(☎08477-2-5121)までお問い合わせください。	市民生活課市民生活係 ☎0824-73-1154
	西城 4月20日(木)13時30分~15時30分	西城支所		西城支所市民生活係 ☎0824-82-2124
	高野 4月11日(火)13時~15時	高野支所		高野支所市民生活係 ☎0824-86-2115
	比和 4月20日(木)13時30分~15時30分	比和自治振興センター		比和支所市民生活係 ☎0824-85-3001
	総領 4月12日(水)9時~11時	総領保健福祉センター		総領支所市民生活係 ☎0824-88-3063
	庄原 4月20日(木)13時~15時30分	庄原市ふれあいセンター		市民生活課市民生活係 ☎0824-73-1244
生活安全相談	毎週月~金(祝日・年末年始除く) 9時~12時、13時~15時45分	市民生活課市民生活係	生活安全相談員	東城支所市民生活係 ☎08477-2-5121
		東城支所市民生活係		
家庭児童相談	毎週月~金(祝日・年末年始除く) 9時~15時45分	児童福祉課 あんしん支援係	家庭児童相談員	家庭児童相談専用 ☎0824-73-1243
消費生活相談	毎週月~金(祝日・年末年始除く) 9時~12時、13時~16時	市民生活課市民生活係内 庄原市消費生活センター	消費生活相談員	庄原市消費生活センター ☎0824-73-1228 市民生活課市民生活係 ☎0824-73-1154
学校での体罰・ハラスメント相談	随時	教育指導課学事係 (各学校でも受け付け)	プライバシーの保護、 秘密保持を徹底します。	教育指導課学事係 ☎0824-73-1183
認知症カフェ	庄原 「とんぼ」 3月21日(火)・4月4日(火) 13時30分~15時	庄原ショッピングセンター ジョイフル2階	相談・情報交換 参加費100円	高齢者福祉課高齢者福祉係 ☎0824-73-1165
	東城 「おれんじカフェ・ええ塩梅」 3月28日(火)13時30分~15時	東城支所	相談・情報交換 参加費100円	東城支所保健福祉係 ☎08477-2-5131
身体障害者補装具判定会	【聴覚】4月20日(木)13時~14時	広島県三次庁舎第3庁舎2階 三次市十日市東4-6-1	1週間前までに要予約	社会福祉課障害者福祉係 ☎0824-73-1210

母子保健事業 ●保健医療課健康推進係 ☎0824-73-1255

事業名	とき	ところ	持ってくるもの	備考
母子健康手帳交付	3月27日(月)、4月3日(月)・17日(月) 9時~17時	保健医療課	特になし	支所は随時(事前連絡必要)
育児相談	4月11日(火)10時~12時	庄原ひだまり広場 (JR備後庄原駅舎内)	母子健康手帳	支所でも実施(詳細はお問い合わせください)

※日程は都合により変更になる場合があります。詳しくはお問い合わせください。

催し

時悠館春休み特別展

写真展

里山の自然と民俗行事を写した作品40点を展示します。

とき

3月12日(日)~4月4日(火)

9時~17時

ところ 時悠館

入館料 高校生以上400円

問い合わせ 時悠館

☎08477・6・0161

時悠館文化講演会

●誇るべき帝釈峽・帝釈石灰岩の地質学的特性とジオパークへの展望

帝釈石灰岩は、3億4千万~2億5千万年前に赤道付近の海底火山上にできたサンゴ礁に由来します。火山の堆積層に重なる石灰岩層の露頭が見られるのは、日本では帝釈峽だけです。帝釈峽地質学的特性と、雄橋を核としたジオパークの可能性を探ります。

とき 3月25日(土)

14時~15時30分

ところ

時悠館研修室

講師

沖村雄二さん(広島大学名誉教授・日本地質学会名誉会員)

問い合わせ 時悠館

☎08477・6・0161

しょうばら産学官連携セミナー「第5回サテライトゼミナール」

普段の生活ではなかなか接点の少ない「大学」のゼミナールが、街中に出張します。大学の先生と交流できる貴重な機会ですので、興味ある方はぜひご参加ください。

とき 3月13日(月)

18時30分~20時30分

ところ

楽笑座(西本町二丁目1・10)

内容

「地球温暖化問題と中山間地域の環境課題」をテーマに講演およびワークショップ

講師

原田浩幸さん(県立広島大学生命環境学部教授)

申し込み・問い合わせ

しょうばら産学官連携推進機構

☎0824・72・2121

商工観光課商工振興係

☎0824・73・1178

募集

平成29年度医療従事者奨学金奨学生募集

市は、将来、市内の医療機関などに医師・看護師などとして勤務しようとする意思のある方に対し、修学などに必要な資金を貸し付ける「医療従事者育成奨学生」を募集します。

受付期間 4月28日(金)まで

(消印有効)

奨学金貸付対象者

①大学の医学を履修する課程に在学する者
②養成施設で、看護学生などとして履修する課程に在学する者

募集定員

①医学生 若干名

②看護学生など 10人以内

貸付金額

①医学生 月額20万円以内
②看護学生など 月額3万円以内(※)以内

※学校および通学の区別別となっており、貸付者の決定は5月に審査委員会が面接を行い、決定します。

問い合わせ 保健医療課医療予防係

☎0824・73・1155

庄原税務署からのお知らせ

申告書の作成は、便利な「確定申告書等作成コーナー」で!

「確定申告書等作成コーナー」でできること

- 画面の案内に従って金額などを入力することにより、確定申告書などを作成することができます。また、作成したデータは、「e-Tax(電子申告)」を利用して提出できます。
- 初めての方でも簡単に利用できるよう、「給与所得または年金所得者向け」の申告書作成画面もありますので、ぜひご利用ください。

作成した申告書などは...



※事前準備が必要です。



マイナンバーの入力と本人確認書類の提示または写しの添付が必要です。ただし、e-Taxで送信すれば本人確認書類の提示などは不要です。

詳しくは **国税庁** で **検索**

その他

平成29年度軽自動車税グリーン化特例について

平成28年4月1日から本年3月31日まで...

平成29年度福祉タクシー券の交付が始まります

3月27日(月)から受付開始... 市は、障害のある方の社会参加を促進するため...

軽度・中等度難聴児補聴器購入費助成事業

市は、身体障害者手帳の交付対象とならない軽度・中等度の難聴児の言語能力の向上を支援するため...

臨時福祉給付金(経済対策)

消費税率引き上げによる影響を緩和するため、所得が低い方々への軽減税率導入までの暫定的・臨時的な措置として...

対象者 市内に住所があり、次の①～③のいずれかの手帳をお持ちの方。①身体障害者手帳1級、2級、3級、4級...

対象者

市内に住所があり、次の①～③のいずれかの手帳をお持ちの方。①身体障害者手帳1級、2級、3級、4級...

申請時期

申請の受け付けは、3月27日(月)から予定しています。...

申請時期

申請の受け付けは、3月27日(月)から予定しています。...

申請時期

申請の受け付けは、3月27日(月)から予定しています。...

申請の受け付けは、3月27日(月)から予定しています。...



「ひろしま さとやま未来博 2017」が開幕します!

「ひろしま さとやま未来博」とは、広島県と本市を含む県内19の市町・関係団体で実行委員会を組織し、中山間地域を舞台に行う、県民参加型人材交流プロジェクトです。

オープニングフェスタ
とき 3月25日(土) 10時30分～
ところ 三次市民ホール「きりり」
内容 【トーク】東ちづるさんをゲストにひろしま里山暮らしのリアルと可能性をトーク...

ひろしまさとやま未来博 2017 シンボルプロジェクト
廃校リノベーション
とき 3・4月着工
ところ (旧)小鳥原小学校(庄原市西城町) / (旧)沖保育所(江田島市) / (旧)和木小学校(三原市)

中国大会

中国高等学校スキー選手権大会
(1月23日～25日)芸北国際スキー場

その他

第66回社会を明るくする運動標語コンテスト
優秀賞
広島県更生保護女性連盟会長賞
岩田 知弥(東城中3年)



全国レベルの大会出場者、全国・県レベルの大会、市が主催する各種大会などの上位入賞者を掲載します。(敬称略)

全国私立高等学校男女バレーボール選手権大会
(3月21日～24日)東京都町田市
小原 日菜(進徳女子高校1)

社名変更のお知らせ
(有)庄原衛生工業所... ステップ 株式会社
平成29年4月3日より(有)ステップへ社名変更いたします。
今後とも従業員一同、お客様へのサービスの向上を目指し邁進いたしますので、何卒変わらぬご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

国営備北
丘陵公園
だより



日本一規模！スイセンコレクション 「スイセンファンタジー2017」開催！

3月18日(土)～4月7日(金)

休園日：3月21日(火)・27日(月)、4月3日(月)

備北公園管理センター ☎ 0824-72-7000 (<http://www.bihoku-park.go.jp/>)

スイセンファンタジー2017

3月中旬から4月中旬にかけて色鮮やかなスイセンを楽しめます。本年は新たに20万本増えて、700品種140万本のスイセンが丘一面に咲き広がります。週末を中心に観察会やスイセン切り花体験などのイベントも開催します。

公園のスイセンは3月に入ってから花を咲かせる品種です。園芸品種とも呼ばれるこれらのスイセンは、黄色、白、オレンジ、ピンクなど、カラフルな色とさまざまな形の花弁が特徴です。

【スイセンの見頃】
3月上旬ごろから、早咲きの品種が花を咲かせ始め、中咲きの品種は3月中旬～下旬、遅咲きの品種は3月下旬から4月上旬にかけて花を咲かせます。スイセンが一面に咲きそろう時期は3月下旬～4月上旬ごろです。開花時期は天候や気温により前後しますので、最新の開花状況は公園管理センターにお問い合わせください。



スイセン観察会

【期間中のイベント】
●スイセンの切り花体験
とき 3月25日(土)・26日(日) 13時～
定員 1日200人(1人10本まで)
ところ みのりの里 スイセンガーデン
※開催日はスイセンの開花状況により変動する可能性があります。
※荒天の場合は中止となる場合があります。

●スイセン観察会
品種の見分け方や育て方など、スイセンにまつわる楽しい情報を講師の三宅さんから聞きながら、園内のスイセンを観察します。
とき 3月18日(土)、4月2日(日) 13時～15時
講師 日本水仙協会会員・三宅幹雄さん
ところ みのりの里 スイセンガーデン

【ひばの里開催イベント】
●おはぎつくり体験
丸めたもち米を、きな粉や粒あんで包み込んで作る、昔懐かしいお菓子つくりです。
とき 3月18日(土)・19日(日)・20日(月・祝)
9時30分～16時30分
※受付は15時30分まで
定員 1日100組
参加費 200円
ところ ひばの里 上の農家
おはぎつくり体験

●桜蒸しパンつくり体験
さくらをのせた、この季節にぴったりの蒸しパンつくりです。あんにもさくらが入り、春の風味を味わえます。
とき 3月25日(土)・26日(日) 9時30分～16時30分
※受付は15時30分まで
定員 1日20組
参加費 500円
ところ ひばの里 上の農家

広告

相続・成年後見・空き家問題等でお困りの方はご相談ください。

業務のご案内

- 不動産の名義変更
- 成年後見
- 相続登記・遺言
- 会社の登記
- 借金の整理
- 簡易裁判所訴訟代理等

●詳しくはホームページに書いています。

庄原 司法書士

司法書士 飯田 一生 (広島司法書士会所属)

広島北部司法事務所 (新松代理権認定第524014号)(司法書士登録番号828号)
〒727-0013 広島県庄原市西本町四丁目20番17号 バルナチュB2階 TEL0824-72-2315(要予約)

広告 「この社会あなたの税がいきている」

—インターネットで申告・納税できる—

e-Tax (国税電子申告・納税システム) **利用推進運動中**
<http://www.e-tax.nta.go.jp>

公益社団法人
庄原法人会

めざします
よき経営者による、正しい納税で
企業の繁栄と社会への貢献

〒727-0011 広島県庄原市東本町1-2-22 (庄原商工会議所会館内)
TEL 0824-72-1889 (FAX兼用)
HP : <http://www.10.ocn.ne.jp/~shk/>

広告 住まいの事なら何でもご相談下さい。

長岡商事株式会社

住まいの修理、新たなご提案、施工、アフターケアまで地元ならではのフットワークで、皆さまの大切な住まいをより快適にするお手伝いをしています。

イーわよ プロパン
0120-184-268
広島県庄原市東本町 2-8-23 TEL0824-72-0561

配偶者や恋人からの暴力・暴言などで悩んでいませんか？
あなたの不安な気持ちをお話ください。
《家族や友人が心配という方もご相談できます。》

庄原市役所児童福祉課あんしん支援係
☎ 0824-73-1243 [月～金 9時～17時(年末年始・祝日除く)]

広島県西部 こども家庭センター	☎ 082-254-0391 休日夜間電話相談 ☎ 082-254-0399	月～金 10時～17時 月～金 17時～20時 土日祝 10時～17時
広島県北部 こども家庭センター	☎ 0824-63-5181(代) 内線 2313	月～金 10時～17時

口和郷土資料館映画上映会「団地」



～何でもありの昭和の集合住宅 うわさが転がる小宇宙～

団地に越して来た、夫婦にまつわる噂が引き起こす一大騒動。大阪近郊にある、昭和の面影を残す古ぼけた団地の一角。その団地を舞台に、さまざまな人生が交差する平凡な夫婦のおかしな日常と、飛び交うブラックなうわさと臆想。やがて訪れるビックリする結末を、“しゃべくりコメディ”の独特なユーモアで描き、“人が生きていくオカシミと切なさ”が描かれています。ぜひご覧ください。

藤山直美主演、岸部一徳ほか共演。

とき 3月19日(日) 13時30分上映開始
ところ 口和郷土資料館 「ふれあいシネマ」
鑑賞料 300円
問い合わせ
口和郷土資料館 ☎ 0824-87-2230 口和支所教育室 ☎ 0824-87-2111

口和郷土資料館は開館40周年を迎えます。その記念事業として、文化庁から特別提供の“35ミリフィルム”で「懐かしの名画」特別上映会を予定しています。ご期待ください。

バイク・軽自動車などの廃車・名義変更の手続きをお忘れなく

軽自動車税は毎年4月1日現在、原動機付自転車、軽自動車、小型特殊自動車および二輪の小型自動車を所有している方に課税されます。

「人に譲った」「廃車にした」「盗難にあった」など変更があった場合は、必要な手続きを行ってください。

注意!! 4月2日以降に廃車手続きしたものについては、その年度の軽自動車税が課税されます。

各登録の手続き・問い合わせ先

軽自動車などの種類	手続き・問い合わせ
原動機付自転車(125ccまでのバイク)、 小型特殊自動車・農耕用作業車	税務課資産税係 ☎0824-73-1144 または各支所地域振興室・市民生活室
軽自動車(四輪・三輪)	軽自動車検査協会広島主管事務所 ☎050-3816-3080 広島市西区観音新町4丁目13番13-4号
軽二輪車 (125ccを超え250ccまでのバイク)	広島県軽自動車協会 ☎082-532-5507 広島市西区観音新町4丁目13番13-3号
二輪小型自動車 (250ccを超えるバイク)	中国運輸局広島運輸支局 ☎050-5540-2068 広島市西区観音新町4丁目13番13-2号

●税額などの問い合わせ
税務課資産税係 ☎0824-73-1144 または各支所地域振興室・市民生活室

人の動き（庄原市の人口）
平成29年1月末現在

【住民基本台帳登録人口】
人口 36,927人（前年比-565人）
男 17,503人（前年比-229人）
女 19,424人（前年比-336人）
世帯数 15,812世帯（前年比+10世帯）
【うち外国人】人口 358人（前年比+39人）

市税・水道料金・下水道使用料納付は口座振替が便利です

手続きは各金融機関の窓口をお願いします。残高確認も忘れないでください。
●債権収納課 ☎0824-73-1145
●下水道課管理係 ☎0824-73-1175
●水道課業務係 ☎0824-73-1197

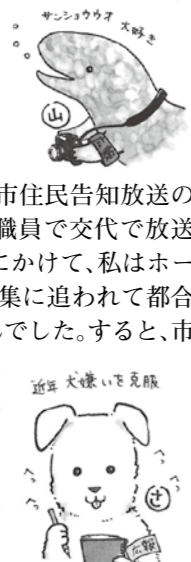
休日診療のご案内

3月・4月の休日診療については、次のとおりです。
●庄原市休日診療センター
診療日：日曜・祝日・年末年始（12/30～1/3）
☎診療日 ☎0824-72-9900
診療日以外 ☎0824-73-1155（保健医療課）
●東城地域

3月26日(日)	こぶしの里病院	☎08477-2-5255
4月2日(日)	細川医院	☎08477-2-0054
9日(日)	東城病院	☎08477-2-2150
16日(日)	日伝医院	☎08477-2-2180

広報日記

▶2月10日、小児科診療所等の運営に関する基本協定調印式の取材に行きました。今回初めて金丸医師にお会いしたのですが、そのやさしそうなお人柄に、安心しました。そして、私たちの庄原市を選び開業していただけたことのお言葉に、取材前には知っていたことではありましたが、直接聞くことで感動しました。その背景には、たくさんの方の努力や力添えがあったことも分かりました。私も含め庄原市に住む子育て世代の皆さんには大変心強く、ありがたいニュースだったのではないのでしょうか。
▶行政管理課広報統計係は、庄原市住民告知放送の吹き込みも担当しています。係の職員で交代で放送するのですが、2月中旬から下旬にかけて、私はホームページのリニューアルと広報編集に追われて都合がつかず、放送に携わっていませんでした。すると、市民の方から「最近女性の声の放送が無いがどうしたのか」とご心配のお電話をいただきました。私はこのとおり元気です。ご心配いただきありがとうございます。放送をちゃんと聞いてくださっているのだなとうれしくなりました。



食育コーナー
保健医療課 ☎0824-73-1255

男子厨房に入る ～男性も楽しく料理をしています～

市は、市内の各地域で、男性料理教室を開催しています。「料理ができるようになりたい」「何か新しいことをやりたい!」。この男性料理教室は、元気!のための講座です。料理は初めて、ちょっと苦手という方など、自分で料理を作る楽しさを実感してみませんか?健康の基本は食生活です。成人男性が家庭で作れる簡単な料理や、健康に生活するための豆知識を学び、男性が積極的に台所に立つことで、料理をする喜びを味わい食生活に関心を持ってもらうことをねらいとしています。また、調理実習を通して仲間を作り、心と体の元気度アップを図りましょう!!

～庄原保健福祉センターで開催する男性料理教室のご紹介～
◆いきいきメンズ倶楽部 毎月第3木曜日（中級者向け）
◆さわやかクッキング 毎月第4火曜日（初心者向け）
対象 成人男性
内容 楽しい♪簡単料理実習（旬の食材を使った簡単料理）
栄養士による病気を防ぐ健康講座
場所 庄原保健福祉センター（調理実習室・研修室3）
（西本町四丁目3-1）
時間 10時～13時30分
材料費 1人1回300円程度
持参物 エプロン・三角巾

★各地域でも開催していますので、お気軽に各支所地域振興室・市民生活室にお問い合わせください。
申し込み 保健医療課健康推進係 ☎0824-73-1255



料理教室に入ろうと思った理由
時間ができたので
趣味の1つとして
ひとりになっても困らないように
など

ロビーコンサート
生涯学習課 ☎0824-73-1188

とき 3月27日(月) 12時15分～55分
ところ 市役所1階市民ホール
出演者 沖田孝司（ヴィオラ）・沖田千春（ピアノ）
演奏予定曲目 「愛の賛歌」「愛の挨拶」ほか
▶沖田孝司…三次市出身。東京音楽大学卒業後、ドイツ国立デトモルト音楽大学に留学。1988年ドルトムント市立フィルハーモニーオーケストラ入団。1993年同フィルにて広島原爆被爆者支援のためのチャリティーコンサートを開催後、日本に帰国。1995年マイ・ハート弦楽四重奏団を結成し、「マイ・ハート・コンサート」を開始。2016年、結成20周年記念CD「The My Heart」をリリースし記念コンサートを全国で開催。現在「マイ・ハート・コンサート」のほか、千春夫人のピアノとの「トーク&コンサート」を中心に活躍中。
▶沖田千春…大分市出身。東京音楽大学卒業後、ドイツ国立デトモルト音楽大学へ留学。1993年に日本へ帰国後、ヴィオラ奏者の夫・沖田孝司と共に演奏活動を開始し、現在に至る。

口和郷土資料館 ☎0824-87-2230
開館日：月・木・土 9時～17時

リアプロジェクションテレビ(大画面テレビ)



これは平成10年ごろに、パイオニア（株）で作られた、ブラウン管3本を使った家庭用の「リアプロジェクションテレビ」です。テレビ放送とビデオの映像が、大画面で楽しめました。一般には「リアプロ」といい、画面の大きさは43型です。当時のテレビ画面は小さいので、これでテレビ放送やビデオの再生映像を観ると大変迫力があります。木製の本体は上下2つに分かれ、下部には放送受信部や映像・音声の回路基板と、ステレオのスピーカーシステム、さらに「赤・緑・青」の小型（6型）ブラウン管3本に対応した、拡大用のレンズが上向きに取り付けられています（図2）。上部は45度に固定された大きな1枚の反射鏡と、前面には投影された映像を映す半透明のスクリーンが付いているだけの空洞です。画面に対して後ろから映像を投影する方式なので、リアプロジェクションテレビといわれます。それまで、テレビ放送やビデオ映像を大きな画面で観るにはブラウン管を大きくしてきましたが、ガラス製のブラウン管を大きくするには、重さや強度などの問題で難しく、このような軽く小型化できる方式が実用化されました。仕組みは、赤・緑・青のブラウン管に写した映像を、それぞれに対応した拡大レンズを通して反射鏡で反射させて前面の半透明のスクリーンに投影します。3色の映像を別々に投影し、スクリーン上で光学的な合成を行うため自然で美しいテレビ画面がみられます。一度、体験してください。今では、液晶パネルや回路の技術も向上、小型化された液晶プロジェクターで明るく美しい映像が大きな画面で投影できます。そのため家庭でも簡単に大画面のホームシアターが楽しめます。

しょうばら九日市

毎月9日は、しょうばら九日市
4月
★出店者募集中!あなたのお店を開こう。
★毎月20日が出店申込締め切りです。
★申し込みは楽笑座内九日市事務局
☎0824-72-8285 まで
とき 4月9日(日) 9時～13時
ところ 中本町・まちなか広場周辺(のほりが目印)
詳しくはHPで <http://kunchi-ichi.jp/information.html>

市民ギャラリー「アート多愛夢」
情報BOX（西本町二丁目1番21号）

市街地の空き店舗を活用した、各種展示ができる市民ギャラリーです。
桐原つゆ子針仕事展
とき 4月8日(土)～10日(月) 10時～16時
☎庄原市文化協会事務局 ☎0824-72-5453
☎商工観光課商工振興係 ☎0824-73-1178
※展示を希望される団体(または個人)はお申し込みください。使用料は要りません。

食彩館しょうばら
ゆめさくら ☎0824-75-4411

- 3～4月のイベント情報**
▶ゆめさくら講座
○草木染め教室「白いコットン製品を染める」
とき 3月27日(月) 9時～12時
参加費 4,900円
定員 12人(午後の部は定員に達しました)
○草木染め教室「未定」
とき 4月24日(月) 9時～12時
参加費 4,900円
定員 12人(午後の部は定員に達しました)
▶展示・販売&イベント
○ヒバゴン音頭2017練習会
とき 3月15日(水)、4月6日(木)
17時30分～18時30分
参加費 1人200円・親子2人300円・親子3人400円
以降1人増えるごとに100円
○世界の天然石とアジアン衣料
とき 3月10日(金)まで
ところ 交流ホール
○ふくろう展
とき 4月9日(日)まで
ところ エントランスホール

♪ヒバゴン音頭とは
約40年前に西城町を中心に目撃され、全国的な注目を集めた正体不明の生き物「ヒバゴン」をテーマに、平成23年に完成した楽曲です。作詞は森永まゆみさん（本村町）、作曲は田辺のぼるさん（峰田町）、編曲は中島昭二さん（兵庫県）で、黒田清隆さん（川北町）が歌っています。音頭は4番まであり、歌詞では「人じゃ獣じゃ類人猿じゃ」と目撃情報に全国が沸いた当時の様子から、「今もみんなの語り草」と現在に至るまでを語っています。NHK広島のテレビ番組「勝手にブランド発見伝」がこの曲に着目し、アーティストのJUVENILEさんがアレンジし、歌手のTEEさんが歌い、振付師のFISHBOYさんが振り付けをして、「ヒバゴン音頭2017」としてリニューアルされました。この踊りの練習会もありますのでぜひ活用ください。
活用の問い合わせ 行政管理課 ☎0824-73-1159



4月
から

市内全域で「古着類の収集」を始めます!

“再利用(リユース)・リサイクルの推進”と“燃えるごみの減量化”のため、4月から、新たに「古着類」の分別区分を設けます(※東城地域は既に実施中)。収集された古着類は、再利用されたり、手袋やクッション材などにリサイクルされます。



古着類の出し方

- 1 洗たくし、乾いたものをたたんで
- 2 庄原市指定収集袋 **燃えるごみ** に入れ
- 3 袋の持ち手をきちんとしばってから出す

★ごみ集積所(ステーション)へ出す場合

収集日当日の8時まで、決められた集積場所に出してください。

【収集日】月1回

※曜日は地域によって異なります

★施設へ直接出す場合

【東城地域以外】リサイクルプラザへ持ち込み
(庄原市是松町20-25 ☎0824-72-1398)

【東城地域】東城クリーンセンターへ持ち込み
(庄原市東城町久代6671-2 ☎08477-2-0214)

- 袋は同じですが、「古着類」と「燃えるごみ」は別々に入れてください。
- ボタン・ファスナーなどは取らないで出してください。
- 汚れているものは、可能な限り金具を取り除いて「燃えるごみ」として出してください。

分別具体例

古着類

- スーツ
- ジャケット
- ジャンパー
- コート
- セーター
- Tシャツ
- ポロシャツ
- ワイシャツ
- トレーナー
- スラックス
- ジーンズ
- スカート
- ワンピース
- 下着類
- 子供服
- 着物
- シーツ
- タオル
- くつ下
- カーテン
- ハンカチ
- ネクタイ
- マフラー
- 手ぬぐい など

燃えるごみ

- 靴類
- ストッキング
- ペット用に使ったもの
- 汚れが著しい・悪臭がするもの
- 中に綿などが入った衣類
(はんでん、ダウンジャケットなど)

粗大ごみ

- 布団類(マットレス、敷き布団、掛け布団、こたつ用布団、毛布など)

4月
から

ペットボトルの出し方が変わります

“リサイクルの推進”と“分別にかかる処理費用削減”のため、4月から、ペットボトルについての「ラベルをはがす」よう、出し方を変更します。



ペットボトルの出し方

- 1 水洗いをして
- 2 キャップ(ふた)とラベルをはずして
- 3 庄原市指定収集袋 **容器包装プラ** に入れ
- 4 袋の持ち手をきちんとしばってから出す

- 袋は同じですが、「容器包装プラスチック」と「ペットボトル」は別々に入れてください。
- ペットボトルとして分別されるものには、ラベルに右のマークの記載があります。
- はずしたキャップとラベルは「容器包装プラスチック」として出してください。



PET
ペットボトル識別マーク